

This file is part of [HyperGeertz@WorldCatalogue\(HTM\)](#)

Clifford Geertz

受賞スピーチ (*Acceptance speech*)

in: The 3rd Fukuoka Asian Cultural Prizes 1992: prize presentation ceremony.
Fukuoka-City/JAP 1992: The Fukuoka Asian Cultural Prizes, no ISBN-number, p. 16.

online source: <http://fukuoka-prize.org/en/library/report/pdf/report1992.pdf>

Using this text is subject to the general [HyperGeertz-Copyright](#)-regulations based on the Austrian copyright-law ("Urheberrechtsgesetz 1936", version 2018, par. 40h, par. 42), which - in short - allow a personal, nonprofit & educational (all must apply) use of material stored in data bases, including a restricted redistribution of such material, if this is also for nonprofit purposes and restricted to a specific scientific community (both must apply), and if full and accurate attribution to the author, original source and date of publication, web location(s) or originating list(s) is given ("fair-use-restriction"). Any other use transgressing this restriction is subject to a direct agreement between a subsequent user and the holder of the original copyright(s) as indicated by the source(s). HyperGeertz@WorldCatalogue cannot be held responsible for any neglect of these regulations and will impose such a responsibility on any unlawful user.

Each copy of any part of a transmission of a HyperGeertz-Text must therefore contain this same copyright notice as it appears on the screen or printed page of such transmission, including any specific copyright notice as indicated above by the original copyright holder and/ or the previous online source(s).

受賞者挨拶

クリフォード・ギアツ

福岡市長、福岡アジア文化賞委員会の皆様、そして、ご来場の皆様。

本日、このような名誉ある賞をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

私はこれまで、アジア文化、中でもことにインドネシア文化、あるいはもう少し広げて、インドネシア周辺地域全体の文化に40年以上、成人して以後のほとんどの年月をかけて関わってきました。私は人類学者ですが、人類学という学問の大半は書物からのみ得られるものではなく、市井の人々、村人たちとのなかで長期滞在をすることから得られるものです。私が共に暮らしたインドネシアの人々は、素晴らしい心の広さと愛情をもって、あるいは、それは時に好奇心であったと思うのですが、私を歓待してくれました。受賞に当たって私の心に浮かぶのは、この人々であり、何年もかけて彼らとの間に築いてきた異文化間の絆のことです。アジア文化研究に対する賞を、アジアの国がアメリカ人学者に授賞するという寛大さこそ、この異文化間の絆を象徴していると言えるでしょう。それは、ひいては私個人にたいする評価にとどまらず、異なる国の人々の間にも真の理解、真の友情が可能であるという事をも、象徴しているのでしょう。

また、本年の受賞者、そして過去2年の受賞者のような著名な方々とともに受賞できることも、私にとって大変に名誉なことであります。福岡市ならびに市民の方々は、この福岡アジア文化賞を創設し、それをこのように格調高く寛大な心をもって授賞なさることで、国際理解およびアジア文化の評価と活性化に大きく価値ある貢献をなさっていると思います。古くより、アジアそしてアジア文化の多様性に、積極的に関わって来たことでよく知られている福岡の伝統は、この福岡アジア文化賞創設でとられたイニシアティブの中にも、よく現われています。

このような意義ある賞を頂きましたことに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。